



盆踊りの一例。本来、先祖の霊をはじめとする死者の霊を歓待し送るという目的で踊られるものであるが、現在は風流化したものも多い

和顔愛語

寺報

令和3年7月号

ご先祖様をもてなす期間 おぼん

今年の前半はコロナウイルス感染症の影響が収まらず、再三の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令、そしてその延長のニュースが報じられ、またか…と感じる人が多くなっているような気がします。一方で、ワクチン接種の話聞くようになり、身近な方の中にも2回目の接種を終えたという人もおり、昨年と比べると明日への希望が持てる世の中になってきました。

そんな中で本年もお盆を迎えます。お経によると、ご先祖様が過ごされている極楽浄土は、病氣や貧困といった苦しみが無い世界です。当然、感染症に悩まされることなく、穏やかな日々を暮らしています。そして、この世で暮らす我々が、様々な事態に右往左往し、時に悩み、苦しむ姿をご覧になり、少しでも穏やかでありますようにと見守ってくれています。

お盆はご先祖様が私達の近くに帰ってくる期間です。この世で過ごことになる大切な方を、心を込めてもてなすことがお盆のご供養です。ご先祖様をもてなす方法は、地域色が豊かであり、新鮮な野菜を供えたり、毎日お膳でお食事をおあげしたり、またお迎えとお見送りを盛大にしたりと、真心を込めて供養する姿は、古くからの日本の夏の風物詩となっています。

盆踊りもそのようなご供養の一つです。今では観光名物となり、イベントの要素が強くなっている部分もありますが、踊りをささげ、ご先祖様を歓待すること、あるいはこの世からあの世へとしっかりと送り出す目的で踊られていました。日本三大盆踊りで有名な岐阜県の郡上おどり^{ぐじょう}では、夜通し踊り続ける期間がありますが、自分の一日をそのままご先祖様のために使うというのは、とても贅沢な供養でしょう。

日常の中でせわしなく消耗する身と心を整え、今年のお盆は、極楽から帰ってくるご先祖様を、心身ともに穏やかにお迎えしたいものです。そして、大切な方を近くに感じ、心休まる時間をゆっくりと過ごしていきましょう。

伝えたい言葉

(4)

身心しんじんに諸もろの苦痛くつうなく、
身心しんじん快樂けつらくにして禪定ぜんじょうに入い
るが如ごとく、
聖衆しょうじゆ現前げんぜんしたまえ

(善導ぜんどう大師だいし『往生おうじやう礼讚らいさん』部分)

〈現代語訳〉

(命が尽きようとするその時
に) 体にも心にも何の苦しみも
痛みもなく、心地よく穏やかで、
まるで瞑想めいそうの境地に達したよう
であり、極楽浄土からのお迎え
がありますように。

お通夜でよく読まれるお経に
「発願文ほつがんもん」があります。「発願」
とは誓いを立てたり、志を持つ
たりすることで、発願文はその
ような誓いや志を必ず達成しよ
うと文章にしたものです。

私達が目標を紙に記したり、
絵馬に書いたりすることも一種

の発願文といえそうですが、浄
土宗では※善導ぜんどう大師だいしのしたため
た「発願文」を特に大切にして
います。

この文には、命が尽きるその
時は、心が乱れることなく、心
身ともに穏やかで、阿弥陀様
のお迎えが来ることを祈り、(亡
くなつて) 極楽浄土に生まれた
のちは修行を進め様々な力を身

願ねがわくは弟子でし等、命終めいしゆうの時に
臨りんんで心顛倒しんてんたうせず、心錯乱しんさくらん
せず、心失念しんしつねんせず。身心しんじんに諸
の苦痛くつうなく、身心しんじん快樂けつらくにして、
禪定ぜんじょうに入るが如ごとく、聖衆しょうじゆ現前げんぜん
したまい、仏の本願ほんがんに乗じて
阿弥陀あみだ仏ぶつ国こくに上品じやうひん往生じやうじやうせしめ
たまえ。彼の国かのくにに到り已おほつて、
六神通ろくしんとうを得て、十方じふぱう界かいに入い
つて、苦くるの衆生しゆじやうを救きう摂せつせん。虚
空くうくう法界ほふくわい尽じんきんや、我わがが願ねがも亦
是このごとの如ごとくならん。発願ほつがんし已おほ
ぬ。至心ししんに阿弥陀あみだ仏ぶつに帰命きみやう
したまつる。

「発願文」全文

につけて、いずれはこの世に帰
つてきて苦しむ人々を救いたい
ということが述べられています。

さて、お経には様々な死の苦
しみが説かれてあります。例え
ば、断末摩だんまつまという言葉がありま
すが、これは死の時に味わう苦
痛のことです。また生前に悪い
ことばかりしていると、死の間
際に地獄の炎が襲ってきて、不
安や苦痛に悩まされるともい
ます。このような死に方は、

俗に往生じやうじやう際さいが悪い、あるいは
死しに際さいが悪いといわれる
ような、好ましくない最期さいご
の迎え方です。発願文では、
命の終わりに臨んで心に混
乱や不安が少なくなるよう
に、体も心も穏やかである
ようにという願いが述べら
れ、「安らかな死」が願わ
れています。心身ともに穏
やかな最期を迎えることは、
人が持つ最大の願いなので
しょう。

日本ではかつて、臨終りんしゆうの時に
平静を保てなくなると阿弥陀様
がお迎えに来てくださらないと
いう考え方がありました。これ
は死ぬ時に心と体が穏やかな者
にはお迎えがあり、それがなけ
れば死後は苦しいところに生ま
れ変わってしまうという考え方
です。

しかし、浄土宗ではこのよう
な考え方はしていません。法然
上人は、死に際が平静だからお
迎えがあるのではなく、阿弥陀
様のお迎えがあるから死に際が
穏やかになると考えたのです。
そのため法然上人は「普段から
お念仏をとなえて功德を積んで
おくことが何よりも大切」とお
っしゃっています。日常のお念
仏のおかげで、臨終のときは必
ず阿弥陀様が迎えに来てくださ
り、心も体も穏やかになつてい
く……。日々のお念仏こそが、
穏やかな死を迎えるために肝心
肝要なものなのです。

善導ぜんどう大師だいし…大業9年(613)～永隆2年(681)に中国で活躍した僧侶。「念仏で必ず往生できる」という浄土の教えを広め、
法然上人(1133-1212)は善導大師のことを「阿弥陀仏の化身」として尊敬していました。

お経の意味を知ろう④ ～日常勤行式編～

さんげげ [懺悔偈]

浄土宗では「日常勤行式」と呼ばれる式次第に則って読経します。式次第に書かれているお経(偈文)について毎号解説します。

我昔所造諸悪業
從身語意之所生

皆由無始貪瞋痴
一切我今皆懺悔

十念 (南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏…)

【意識】

私が造り続けてきた様々な悪業は、すべて、はるか過去からの貪(むさぼり)、瞋(いかり)、痴(おろかさ)の煩惱によります。これはすべて私の行い、ことば、思いから生じたものです。私は今、そのすべてを懺悔します。南無阿弥陀仏…。

「お経ってどんなことが書かれているの?」誰しも一度はそんな疑問を持ったことがあるのではないのでしょうか。

お経はお釈迦様の教えを文章にまとめたものです。「二」では日頃のおつとめ(勤行)で読経する式次第をまとめた「日常勤行式」を丁寧に解説していきます。

【解説】

「懺悔偈」は、「三奉請(四奉請)」でお迎えした仏様に自らの悪業を告白し、悔い改める気持ちを表明する偈文です。

ここでいう悪業とは、偈文

にある、貪(むさぼり)・瞋(いかり)・痴(おろかさ)の煩惱から起こす罪をいいます。

私達は日常生活の中で、様々な欲求を起こしたり、つい腹を立てたりしてしまいま

す。また、そのつもりはなくても、ふいに相手を傷つけていることも。これらが複雑に絡み合い、知らず知らずのうちに数限りない悪業を生んでいるのです。

浄土宗で拠り所とするお経『観無量寿経』には、「お念仏は…中略…八十億劫生死の罪を除く」とはつきり示されています。罪が除かれ、往生がかなうお念仏の教えは非常にありがたいことです。だから何をしても構わない、ということにはなりません。法然上人も、煩惱があれはあるがままにお念仏すべきことを説いています。一方で、「どんなに罪の重い者でも救ってくださる大慈悲を信じるからこそ、どんな些細な罪をも犯さないように心掛けない」とおっしゃっています。

その言葉を真摯に受け取り、心を込めてお念仏をおとなえください。

浄土宗の 基礎知識

お灯明 おとうみょう

お仏壇をお参りするときは口ウソクに火を灯し、お線香を立てて手をあわせませす。最近では火事の心配が少ない、電気で灯る口ウソクもありますね。この口ウソクから放たれる明かりが「お灯明」です。お灯明はもととも油を燃料として灯される明かりのこと、この灯火が仏様にお供えされました。暗闇を明るく照らすお灯明を供えることは、とても大きな功德があると、様々なお経に説かれています。やわらかく広がるこの光はお仏壇の中を照らし、ご先祖様へのお供えになるだけではなく、手を合わせる私達の心も清らかにします。



Q&Aですぐわかる! なるほど浄土宗

④

身近な仏教の疑問をQ & A
形式で説明します!

——これまでお墓参りは祖父母に
任せてきましたが、今後私が墓
守を継ぐにあたってお墓参りの仕
方ってあるのでしょうか?

——お墓参りに細かな決まりはあ
りませんが、お寺にいらつしやる
際は、御本尊様に手を合わせまし
よう。そうすることで、ご自身を
浄めてからお参りすることができ
ます。

墓参時には、お花やお線香、ま
たお水を用意します。お墓が汚れ

ている時は、お

参りの前に掃除
をします。墓石

には水をかけて
スポンジや布な

どで汚れを落とし、花入れを洗い、
墓地の雑草をむしったり、植物の
剪定が必要な場合もあるでしょう。
墓石の種類によっては、水をかけ
るだけでもいいようです。

掃除が終わったら、お花やお線
香をお供えます。お花はトゲの
あるものや、毒のある物は避けま
しょう。お水はお墓を浄める意味
がありますので、上からかけて構
いません。足元が不安定な場合や、
手が届かないときには、届くとこ
ろにかけてください。

お酒好きだった方に対して、墓
石にお酒をかけてご供養とする方
もいるかと思いますが、石が傷む
場合があるので、控えたほうがい
いでしょう。また、故人の好物な
どをお供えた場合は、お参りの
後にご自身で召し上がっていただ
くのが、一番の供養になります。

お墓は「墓地、埋葬等に関する
法律」という法律に基づいて管理
されています。使用者の変更や後
継者の問題など、わからない事が
あればお気軽にお寺や管理者に相
談してください。

住職あいさつ

毎年この時期には、小笠原
の母島にございます清見寺へ
行き、お施餓鬼法要を執り行っ
ております。しかしコロナウ
イルス感染予防の面から、昨
年と今年は行くことが叶いま
せんでした。

清見寺は私の曾祖父の代か
らのご縁で、代々当寺住職の
原家が見守っているお寺でご
ざいます。戦後小笠原諸島が
返還されてから50年が経ちま
すが、当時は全てが焼き払わ
れ、墓地も悲惨な状況だった
そうです。祖父と祖父の兄は、
何とか復興しようと島民の方
達と話し合い、内地から船で
何度も資材を運び、無事に六
角堂の本堂を再建することが
できました。祖父は一度脳梗
塞で倒れた後も小笠原へと行
き、法要をし続けるほど大好
きな場所でありました。そ
んな祖父も今年で17回忌を
迎えました。代は変わっても
亡き方の遺志を継ぎ、これか
ら守って参りたいと思いま
す。

普照山 正定寺

■所在地
〒111-0036 東京都台東区松が谷2丁目1-2
■TEL: 03-3841-1853 ■FAX: 03-3841-1777

紫金山 静蓮寺

■所在地
〒110-0004 東京都台東区下谷1丁目12-21
■TEL: 03-3843-4034 ■FAX: 03-3843-3442

母冲山 清見寺

■所在地
〒100-2211 東京都小笠原村母島字元地122

代理墓参 承ります

コロナ禍でなかなかお墓参りにも行けない…
そんなお声が多数寄せられましたので、住職
が代理でお墓を掃除し、お参りをいたします。
ご希望の方は、直接ご連絡いただくか、冥加
料を現金書留にてご郵送ください。
後日お参りの様子をお手紙にてお送
りさせていただきます。

